

特集 中国に勝った日本人100人 / 雅子さま「病状の深層」

AERA

昭和55年6月10日創刊 3 雑誌登録番号 第911号 1981年1月10日発行
毎月10日発行 (12月27日発売) 通巻1263号

'11.1.3-10
No.1 特価400円
合併増大号
アエラ



女優 上野樹里

中国に勝った日本人100人



自分の強みを生かし、広げた人生の選択肢

2010年、日本はGDPで中国に世界2位の座を明け渡した。だが、その中国で「勝った」日本人がいる。自分の強みを中国という成長市場で生かし、人生の選択肢を増やした人たちが。

ライター 三宅玲子(北京)、須藤みか(上海) 編集部 木村恵子

だが始めた当初は、ブログに日本兵による残虐行為の写真が10回近く勝手にアップされた。タオバオの担当部署に電話で何度も直談判し、画像を削除した。でも一方で、「イけるかも」と思った。日本人に風あたりが強いのは想定内。反応があるという事は存在を認めてもらえていくということ。ブログ閉鎖は

も狙い通りだった。戦略的な仕掛けもあった。TOKYO PANDAというハンドルネームは2歳年下のロシア人の彼がつけた。東京出身というブランドと中国を代表するパンダの組み合わせ。アルファベットの組み合わせ。アルファベットの方がおしゃれというの狙い通りだった。

人商店も、PANDAに注目する。彼女が何を着るか。それによって売り上げが飛躍的に伸びるからだ。1年前に始めたブログに、「PANDAのおかげでカワイイ服が買えたよ」などコメントが書き込まれる。その反応がうれしい。ブログには服の説明は敷衍。その日の出来事や彼のことなどを書くが、リストアップもウケている。130万部発行の人気ファッション雑誌「Ray」中国版にもファッションリーダーとして登場するまでになった。

700万都市、瀋陽は今、主産業の鉄工業が好況で、あちこちで高層マンションが建設ラッシュを迎えている。ユニクロも日系百貨店もあり、12月にはヤマダ電機もオープンした。この街に中国のおしゃれ大好き女子の絶大な支持を集める日本人女子がいる。スラリとした脚にショートパンツとヒールのニーハイ、明るい色にカラーリングしたセミロングの髪。くつきりと縁取ったアイメイクは、薄化粧の女性が多い中国で目を引く。TOKYO PANDA、26歳。今、中国最大のショッピングピ

全く考えなかった。本業は瀋陽の医大の附属病院で実習する医者の卵だ。中国の医師国家試験を2011年に控える。資格取得後は内分秘科の医師として中国で働く予定だ。5年前に来た当時の瀋陽は未舗装の道路が多く、服を買おうにも店もなかった。しかたなくタオバオで買いたい物をするように、ブログを始めたのも、苦労してみつけたカワイイものをうまく組み合わせた。成果。を多くの人に見てもらいたかったからだ。今、瀋陽は5年前とは全く違う都市に変貌し、街中が工事 중이다。中国のあらゆる都市で開発が猛スピードで進んでいる。PANDAがたった1年で有名ブログになった、そのスピードはまさに中国の今の「速度」なのだ。

タオバオで買った服と手持ちの服をコーディネートし、街角で撮ったスナップ写真をブログにアップ。中国の洋服なのに、コーディネートは東京風。タオバオのショッピングのアドレスを貼り付けると、飛ぶように売れる。多い時にはマフラー800本、3万円もするコートが50着も、いまやタオバオやサイト内に出店する何方という中国国内の個

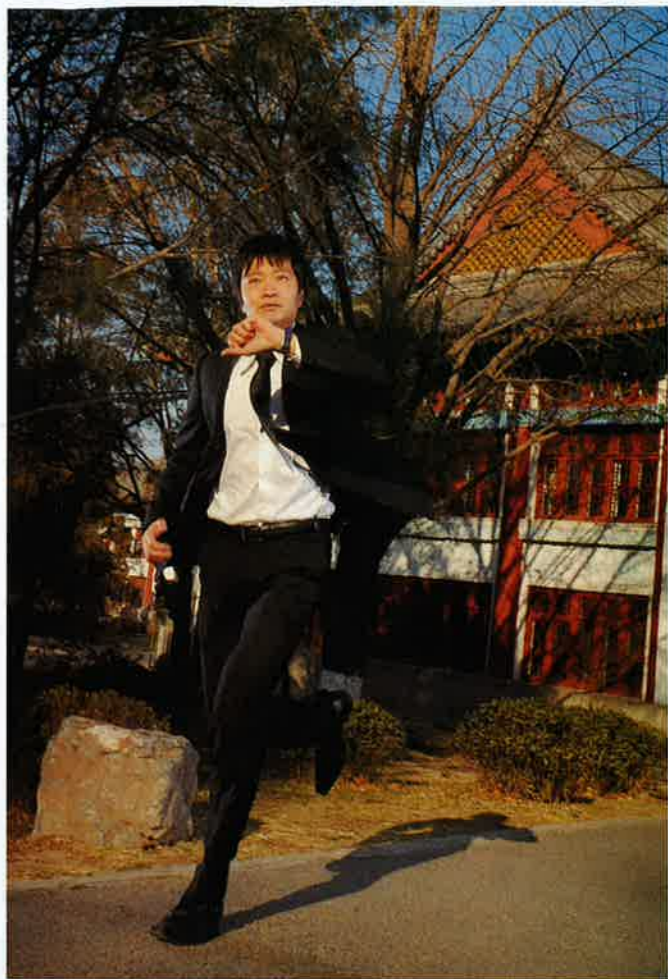
たった1年で有名人に
タオバオで買った服と手持ちの服をコーディネートし、街角で撮ったスナップ写真をブログにアップ。中国の洋服なのに、コーディネートは東京風。タオバオのショッピングのアドレスを貼り付けると、飛ぶように売れる。多い時にはマフラー800本、3万円もするコートが50着も、いまやタオバオやサイト内に出店する何方という中国国内の個

女の子の本音いかむ



人気ブロガー、医大生 TOKYO PANDA

沖縄生まれ、東京育ち。子どもの頃にはモデルをしていた。東京の私立中高一貫女子校時代は、ルーズソックスで渋谷のセンター街にいたコギャルだった。高3から2年間オーストラリアへ語学留学



評論家、ジャーナリスト 加藤嘉一
1984年静岡県生まれ。英語は高校時代にマスターしたため、別の言語を学びたいと北京大留学を決意。北京在住半年で新聞やラジオ、街角の会話で中国語を学び、翻訳ができるほどに上達

ントをするのは、彼女の友人でやはり医学生の前田織枝(28)だ。いま中村のもとには、日本のインターネット、化粧品、エンターテインメント企業からPANDAとコラボレーション商品を出したい、商品やサイトへのアドバイスがほしいという依頼が相次ぐ。中村はこう話す。

「13億人市場といっても、女の子たちが本当に何に反応するのか、日本企業もつかみきれない。移り変わりの早い巨大市場で、一般的なマーケティング調査では決してわからない中国人の女の子の本音をPANDAはつかんでいる」

PANDA自身はこう話す。「ブログを始めた頃はこんなことになるとは思ってもみなかった。だけど、有名になって、ビジネス的にも成功できれば、もっとやりたいことも出てきた」

「親善活動にマーケティング、それに医者。ファンクションは多いがTOKYO PANDAの魅力は上がると思うんです」



スクール運営会社経営、貿易業 佐藤愛
1978年前橋市生まれ。レアメタルの日本輸出に規制がかかった尖閣問題以降も、これまでの実績でスムーズに輸出できた。「学生の頃は仕事に生きるなんて考えたこともなかった」と笑う

する活動を考えている。「親善活動にマーケティング、それに医者。ファンクションは多いがTOKYO PANDAの魅力は上がると思うんです」

露呈した。だが、いずれ米国を抜き、GDP世界1位になる隣国を抜きにして、もはや日本経済は成り立たない。単なる商品なら政治的な軋みが出れば不買運動が起きてしまう。だが、中国人の「好き」を押さえていれば、多少の軋轢が出ても関係は揺らがない。

を聞きたいとオファーがくる。弱冠26歳にして、中国で日中間係や国際問題について必ず意見を求められる立場になった。空港で、中国メディアに対し「尖閣問題で、国際社会を無視した対応をすれば、一番損をするのは中国だ」

胡錦濤主席とも面会

転機は05年、中国で反日感情が吹き荒れた時だった。それまではアエラの中国取材で通訳も務めてくれた。一人の留学生。それが北京大の日本人留学生学生会長としてテレビ取材を受け、感じるままに意見を言った。「これは外交的事件であり、日中どちらかの国だけに責任がある」という問題ではない

年間300冊という読書量で中国政治や社会を知り尽くしている自信もあった。日本の高校卒業後、独学で身につけた中国語は中国人に間違えられるほど。それも説得力を増した。

悪化すれば1日500件を超える苦情メールも来る。それでも中国語を批評することをやめない。

「番組に出演している時にはものすごく自由を感じる。『天に向上』だけでなく、中国では生活をしていても、すごく解放感がある。堅苦しい感じが全然ないです」

矢野の出演自粛の案も出た。だが、最終的に局は、「浩二の気持ち次第。出るか出ないか浩二が決めていい」

だが、このままでは日本兵専門の役者で終わる。チャンスをくれなかった日本人から「日本兵しかできないゴキ役者」のように見られることも悔しかった。マネジャーとケンカ腰で話し合った末、日本兵役は受けないと決めた。中国に渡って5年目だった。仕事は激減した。

へんな中国人も演じる

尖閣問題が起きた時、「天に向上」を放送する湖南衛星テレビの局アナから矢野の携帯電話にメールが入った。



飲料水販売会社経営 熨斗麻起子
1972年奈良県生まれ。大学では日本語教育を専攻。中国各地で生まれた日本人起業家たちのグループ「和僑会」の「深圳和僑会」の中核メンバー



中国に勝った日本人100人

俳優 矢野浩二
大阪出身。来春には自叙伝『管道』が中国と日本で発売される。中国人の妻との間に一人娘。当初は中国語は全く話せなかったが、今では中国語と日本語でブログを書き、撮影現場ではファンとの握手も欠かさない

「あぶないなあ」と吉本新喜劇を髣髴とさせるコテコテのギャグ。これがやたら中国に勝った日本人100人

だが、求められた残酷性の表現だけでは満足できなくなり、戦争への疑問や残してきた家族への思いなど、心のひだも意図的に表現した。ステレオタイプな日本兵役を、血の通ったひとりの人間として演じることが評